

# 第10回（令和4年度）GKP広報大賞 実施要領

## 1. GKP広報大賞について

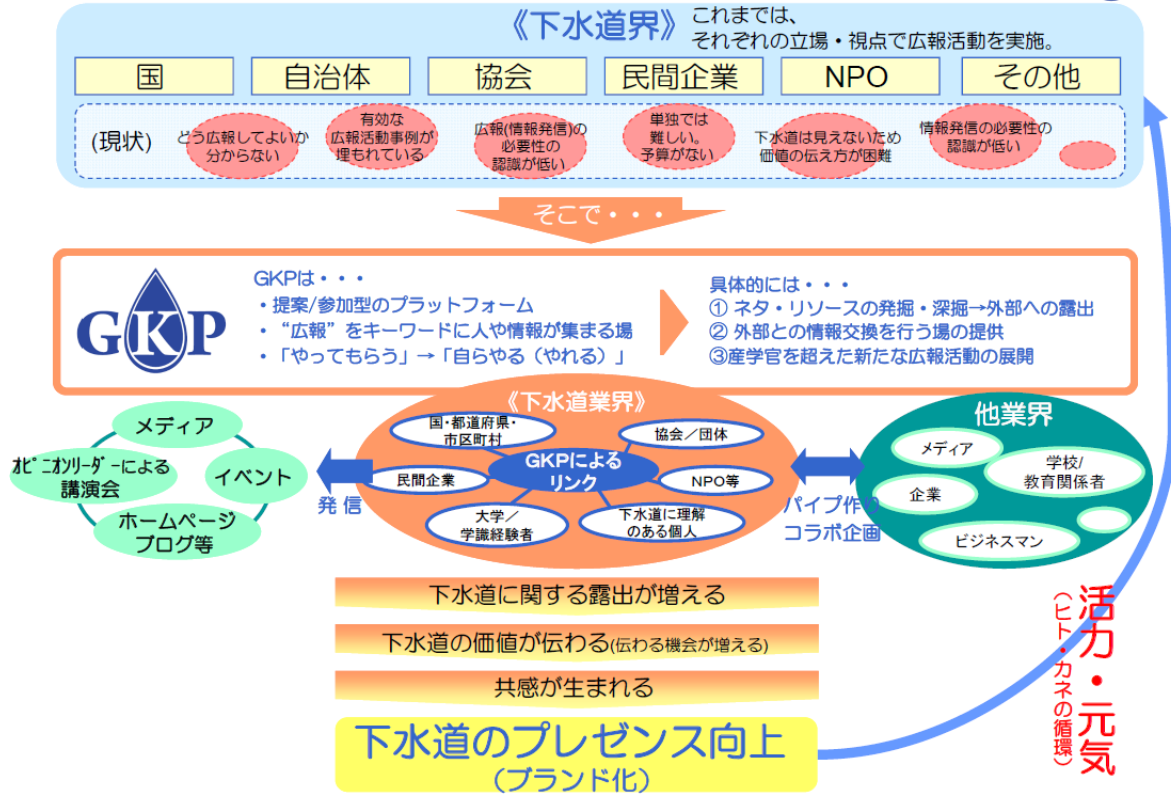
下水道は、国民生活を足下から支える最重要インフラであり、国民の共有財産です。今後下水道事業が、建設中心の時代から本格的な管理運営の時代を迎えるにあたり、この財産を未来へ引き継ぎ、活かしていくためには、利用者であり、財源の負担者である国民一人ひとりの皆様に下水道の機能・役割等の理解を深めてもらうことが重要です。また、わが国の将来を担う、子供や若者に、下水道の魅力や可能性に共感してもらい、夢を持って下水道界に入り活躍して頂くことも必要です。さらには、国内外における成長戦略の柱として、下水道界が有する資産・技術・人材を「水ビジネス」展開の戦略資源と捉え、資源・エネルギー再生活用による産業振興やその輸出・国際協力等に関心が向けられています。

しかしながら、下水道は、いったん整備が進むと目につきにくい当たり前の存在になり、関心が薄れ、事業に対する理解も得にくくなりがちです。

このような状況のもと、下水道の普及拡大を中心に訴えてきた広報から転換し、時代の変化に応じた下水道広報を展開すべく、下水道界の産学官のセクターを超えた情報共有や下水道インフラの価値を高める他業界との新たなマッチングを目指した交流・連携のための母体として「下水道広報プラットフォーム（GKP）」が平成24年6月に設立され、新たな広報活動の発案・実施・支援に取り組んでいます（次頁参照。詳細は、<http://www.GKP.jp/>を参照下さい）。

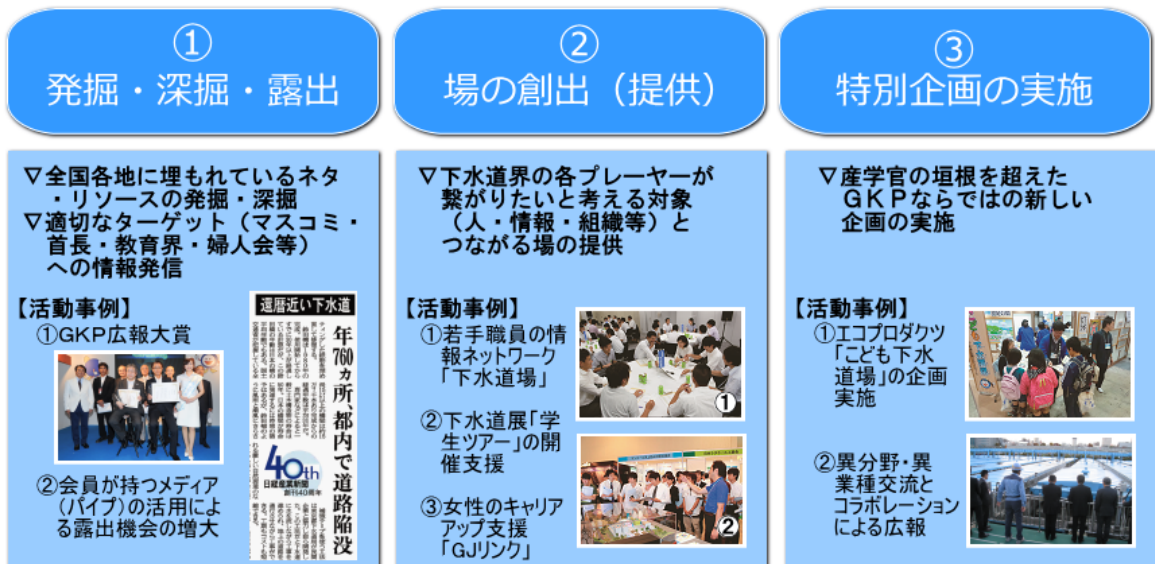
GKP広報大賞は、下水道広報に取り組む人たちや現場にスポットを当て、その広報活動の企画から実施に至るプロセスやノウハウ、広報の効果などを多様な観点で評価し、表彰する制度です。また、応募資料やプレゼンテーションなどを集約して発信することにより、全国の広報担当者が参考にし、広く共有できる「事例集」としての役割を果たします。

# 「下水道広報プラットフォーム(GKP)」の活動イメージ



## GKPが果たす3つの機能

これまで下水道界で展開されてきた広報活動を外部につなぐとともに、産学官の垣根を超えた新たな広報活動を展開する下水道界のプラットフォームとして機能。



**リソース(人・資金)の確保&下水道のイメージアップ**

## 2. GKP広報大賞の狙い

### ■現場に光を当てます

下水道広報に取り組む人たち（応募者）から直接話を伺う機会を設けます

- ・審査会でのプレゼンテーション、質疑応答
- ・受賞者セミナーの開催

### ■情報を広く共有します

審査会はリアルタイムで公開！評価のポイントなどを分かりやすく伝えます

受賞者セミナーはオンラインを駆使し、全国の広報関係者がつながり、交流できる場にします

応募資料や動画、審査結果などをネット上で共有します

## 3. 対象

下水道の役割や魅力を広く知らしめ、下水道の価値を高めるために行われた広報であれば、どのような団体のどのような活動でも対象とします。

### (※) バリエティー豊かな「事例集」になるよう、積極的にご応募下さい！

GKP広報大賞には、優れた事例を表彰する目的に加え、全国から集めた広報事例を広く共有する「事例集」としての役割があります。

「過去に優れた事例が表彰されている」などの理由で応募を控えるケースが見受けられますが、共有情報をより豊かにしていくためにも、皆さまの積極的な応募をお願いします。

例えば、

- ・ポスター
- ・副読本
- ・マンホールカード活用
- ・施設見学、出前授業

などなど、どこでもやっていると思われがちな取組でも、是非ご応募ください。個々のアイデアや発想は、たとえ小さな工夫であっても、表彰するにふさわしいと判断されることもありますし、全国の広報担当者の参考になります。

※過去にGKP広報大賞を受賞した事例については、原則として再度エントリーすることはできません。但し、同一の事例であっても、取組が発展・レベルアップした等新たに評価されることが期待できる要素がある場合については、そのような内容が分かるようエントリーシート（エントリー動画）に記載の上、エントリーしていただくことができます。

#### 4. 表彰について

総合評価により、(1)の通り、グランプリをはじめとする各賞の表彰を予定しています(該当なしの場合もあります)。

また、様々な観点から優れた広報活動を表彰するため、(2)で例示しているようなカテゴリー別、スキーム、プロセス、パフォーマンス等の観点による表彰を想定しています(例示の名称は仮称です)。該当なしの場合もありますし、例示のない賞で表彰することもあります。

##### (1) 総合評価による表彰

###### グランプリ

総合的に最も評価が高かった広報活動

###### 準グランプリ

グランプリに次いで総合的な評価が高かった広報活動

###### 行政広報賞

地方公共団体や同団体が関係する法人による広報のうち優れたもの

###### 民間広報賞

民間企業や民間企業の関連法人による広報のうち優れたもの

###### 学校・NPO等広報賞

学校や研究室、NPO、任意団体、一般市民等による広報のうち優れたもの

###### 連携広報賞

地方公共団体、民間企業、学校・NPO・任意団体等の連携母体による広報のうち優れたもの

##### (2) 様々な観点による表彰(想定される賞の例示)

###### □カテゴリー別による表彰の例

###### ポスター賞

下水道広報のポスター

###### 映像メディア賞

下水道広報の動画や映像

###### 出版メディア賞

マンガ本、雑誌の企画・協力・出版など

### DX賞

デジタルトランスフォーメーションやSNS等を活用した広報戦略

### 企業PR賞

企業が行う広告について、PR手法等を評価

### 学習・教育賞

出前授業や施設見学、副読本などによる学習・教育活動

### マンホール賞

マンホール蓋やマンホールカードを活用した広報活動

## □スキーム、プロセス、パフォーマンス等による表彰の例

### アイデア賞

アイデアや工夫が光った広報活動

### コストパフォーマンス賞

経費を抑えて大きな効果をあげた広報活動

### チームワーク賞

下水道広報に取り組むチームの活気や団結力などを表彰

### 継続賞

長年にわたって継続的に取り組まれている広報活動

## 5. 第10回記念 レコード表彰について

令和4年度のGKP広報大賞は、10回目の開催となります。これを記念し、以下のレコード表彰を行う予定です。

- ・「最多受賞」賞（地方公共団体、民間企業、関連団体等）  
※第1回から第10回までの通算受賞回数（賞の種類を問わず、受賞回数を合算）
- ・「最多エントリー」賞（地方公共団体、民間企業、関連団体等）  
※第1回から第10回までの通算エントリー回数
- ・特別表彰  
※最も印象が強かった広報など、審査員が10年間の中から厳選した広報

## 6. 殿堂入りについて

第10回GKP広報大賞の審査会終了後、以下の条件を満たした団体を「殿堂入り」認定することとします。

殿堂入りした団体については表彰し、他の受賞団体と同様に、GKPのサイトや各種メディア等を通じて広く周知します。併せて、認定後2年間、受賞団体が決まった後に開催する「受賞者セミナー」において、当該年度の広報活動の成果等についてご講演いただきます。

なお、**殿堂入りの期間は2年間**です。期間満了後は、GKP広報大賞に応募していただくことができます。

### 【殿堂入りの条件】

- ・通算で2度のグランプリ獲得
  - ・グランプリと準グランプリを計3回獲得（準グランプリ3回も対象とします）
- ※殿堂入りに伴って上記回数はクリアされます。

## 7. エントリーの方法

エントリーいただくためには、以下の資料・データが必要です。

- エントリーシート（必須）
- エントリー動画（必須）
- 付属資料（任意）

### 【エントリーシートについて】

- (1) エントリーシートの記入は事例1件につき1枚のみ（必ずオモテ・ウラの両面1ページに収めてください）とします。ただし、エントリー事例の中で使われた広報素材等を付属資料として提出することができます。
- (2) エントリーシートのファイル形式はWordとします。  
※Wordがご利用いただけない場合はご相談ください。

### 【エントリー動画について】

- (1) エントリーシートで表現しきれない部分も含め、エントリー内容を説明する動画をお送りください。スマホ撮影可。ファイル形式はMP4（.mp4）でお願いします。  
動画は、パワーポイントに音声をつけた簡易なものでも構いません。例えば、ポスターや副読本等を応募する場合であれば、作品の側に立って説明する様子をスマホで撮影したようなもので構いません。  
※GKPのサイトでサンプル動画を公開しますので、ご参照ください。
- (2) 動画時間は3分以内とさせていただきます。
- (3) 動画の出来栄を審査するものではありません。事例の特徴等、アピールしたい情報が入っていることが重要です。

**【エントリー動画の扱いについて】**

- (1) エントリー動画は、YouTube のGKPチャンネルで**限定公開** (URL を知っている方のみが閲覧可能) します。
- (2) 限定公開の URL は、GKPの会員、GKP広報大賞の応募者、審査委員、審査会の視聴希望者などに限定してお知らせします。

**【付属資料について】**

- (1) 今回エントリーいただく広報事例が、書籍やポスター、映像、学習キット、グッズなどの場合、エントリーシートのほかに、その実物またはコピーをお送りいただくことができます。
- (2) 提出いただいた付属資料は返却いたしません。

**【エントリーシート、動画、付属資料の送信・送付について】**

- (1) 大容量ファイル転送サービス等によってお送りいただく場合は、件名に「GKP広報大賞エントリー」と記載し、下記アドレスまでお願いします。

受付アドレス (E-Mail) : [entry@gk-p.jp](mailto:entry@gk-p.jp)

- (2) 必要ファイルや動画等を記録媒体に保存し、郵送でお送りいただく場合は、下記までお願いします。送料は応募団体(個人)でご負担ください。  
また、万が一のため、宅配便やレターパックなど発送を証明できるサービスをご利用ください。

〒101-0047

東京都千代田区内神田2丁目10番12号 内神田すいすいビル6階

広報課 GKP広報大賞エントリー係

- ※ いずれも発信元(発送元)を明記願います。
- ※ GKPの受付窓口で確認次第、エントリーシートに記載されたアドレスへ受付確認のメールを返信させていただきます。この返信メールの到着をもってエントリー完了となります。なお、エントリーが確認されるまでに多少お時間がかかる場合がございます。

**8. エントリーの受付期間**

令和4年11月9日(水)受付開始 ~ 令和4年12月9日(金)締め切り

メール・ファイル転送の場合 当日17時まで

郵送の場合 当日消印有効

## 9. 審査について

応募件数が多い場合、エントリーシートとエントリー動画をもとに一次審査を行う場合があります。

最終審査は公開（オンライン）で行います。審査基準は次頁をご覧ください。

**最終審査：令和5年1月27日（金） 13時～17時（予定）**

最終審査には応募いただいた皆さまにオンラインでご参加いただき、3分間程度のプレゼンテーションと質疑応答に対応していただきます。

プレゼンテーションは、応募時に作成いただいた動画を改めて流すことでも対応可能です。

全団体のプレゼンテーションと質疑応答を踏まえ、各賞を決定します。

なお、最終審査の様子はアーカイブでも公開する予定です。

### <審査委員>

長岡裕（審査委員長）（東京都市大学教授 GKP 会長）

江戸家小猫（演芸家 GKP 会員）

岡久宏史（日本下水道協会理事長 GKP アドバイザー）

小林由夏（シニア広報コンサルタント GKP 理事）

堂蘭洋昭（国土交通省下水道事業調整官 GKP 企画運営委員長）

諸富里子（環境コンセプトデザイナー GKP アドバイザー）

頼あゆみ（国土交通省大臣官房政策評価審議官 GKP 理事）

## 10. 表彰

審査結果はGKPのサイト等で公表します。

また、表彰式は下記受賞団体セミナーの中で行います。

## 11. 受賞団体セミナーの実施

令和5年2月～3月をめどに、GKP広報大賞の主要な賞を受賞された団体によるセミナーの実施を予定しています。

同セミナーを通し、優れた事例をより多くの方に知っていただく考えです。

## 12. お問い合わせ

お問い合わせは電子メールにて、GKP事務局（公益社団法人日本下水道協会内、E-Mail: [entry@gk-p.jp](mailto:entry@gk-p.jp)）までお願いします。



## G K P 広報大賞の審査基準

以下の観点から、総合的な審査を行います。

### <前提>

下水道インフラの価値を高める広報活動であること

### <過程および実行>

- ・戦略が優れていること
- ・戦略に基づく企画やアイデアが斬新であること、優れていること
- ・実行者（伝え手）に優れたスキルがあること
- ・今までに無いネットワーク等を開拓して実行されていること
- ・メディア等を取り込む工夫があること

### <成果>

- ・ターゲットに合わせて下水道の役割・魅力等が適切に伝えられていること
- ・多くのターゲットに下水道の役割・魅力等を伝えていること
- ・効果的な取り組みが継続的に行われていること
- ・社会的インパクト、関心が高いこと
- ・少ない予算・人員、短い期間、ちょっとした工夫で成果を上げていること
- ・従来の取り組みに対して、大きな改善が見られること
- ・他団体が参考にしやすく、波及性が見込めること

### <各賞について>

総合評価により、グランプリをはじめとする各賞を表彰します（該当なしの場合もあります）。（1）参照。

また、様々な観点から優れた広報活動を表彰するため、（2）で例示しているようなカテゴリ別、スキーム、プロセス、パフォーマンス等の観点による表彰をします（例示の名称は仮称です）。該当なしの場合もありますし、例示のない賞で表彰することもあります。

#### （1）総合評価による表彰

##### グランプリ、準グランプリ

審査ポイントによる総合評価で最も優れている、またはこれに次ぐと認められた広報活動をグランプリならびに準グランプリに選定します。

#### 行政広報賞、民間広報賞、学校・NPO等広報賞、連携広報賞

エントリーーいただいた団体を「行政」、「民間企業」、「学校・NPO等（個人含む）」に分け、それぞれの中で優れた広報活動を表彰します。連携母体による広報も表彰の対象とします。

## (2) 様々な観点による表彰（想定される賞の例示）

### □カテゴリー別の表彰例

#### ポスター賞

語らずとも伝わるのがポスターの魅力！ 下水道広報ポスターの見栄え、インパクト、メッセージ性などを総合的に評価して表彰します。

#### 映像メディア賞

情報量の多さが映像の強み！ YouTube 等の動画や映像作品などについて、企画力、構成力、演出力、映像の魅力、伝わりやすさ、反響の大きさ（視聴数等）などを総合的に評価して表彰します。

#### 出版メディア賞

今こそ紙媒体に注目！ マンガ本や雑誌など、紙媒体ならではの企画力、構成力、分かりやすさ、反響の大きさなどを総合的に評価して表彰します。

#### DX賞

デジタル技術が広報を変える！ デジタルトランスフォーメーション（ビッグデータなどデジタル技術の活用）、メディアミックス、SNS の活用やインフルエンサーのマッチングなどによって大きな成果をあげた広報を表彰します。

#### 企業PR賞

企業だからこそその伝え方がある！ 媒体や形式を問わず、訴える力やその手法等に優れた企業広告を表彰します。

#### 学習・教育賞

学びはよろこび！ 学校教育や地域学習などの場における広報活動について、企画力、学習ツール等のアイデアや工夫、成果（参加人数や反響など）などを総合的に評価して表彰します。

#### マンホール賞

マンホールは下水道の入口！ 近年ファンが増えてきたマンホールやマンホールカードを活用した広報について、企画力、実行力、成果（集客数や反響など）などを総合的に評価して表彰します。

### □スキーム、プロセス、パフォーマンス等の表彰例

#### アイデア賞

アイデアは広報の宝！ とにかくアイデアが突出しており、今後一層の発展が期待できる広報活動を表彰します。

### **コストパフォーマンス賞**

お金が無くてもここまでできる！ そんな成果を見せてくれた広報活動を表彰します。

### **チームワーク賞**

チームの力を見せつけろ！ プレゼンテーションなどを通じて、下水道広報に取り組んだチームの活気、雰囲気の良い、団結力の高さなどが感じられた応募団体を表彰します。

### **継続賞**

継続が一番のチカラ！ 長年にわたってコツコツと積み上げてきた広報活動を表彰します。

以上